マリノスユース出身の加藤健太選手の震災復興への思いにこたえたい！

―宮城(東北)のサッカー少年たちへ新品のボールをプレゼント―
サッカーサポーターによる被災地復興支援2012

横浜F･マリノス ユースに在籍していた加藤健太選手をご存じでしょうか？

U-14からU-16まで日本代表の選手で、マリノスのユースでは、ハーフナー･マイク（フィテッセ）や秋元陽太（愛媛FC）と同期。2005年のadidas cup-U-18クラブユース選手権準優勝の時のメンバーでもあります。

その加藤選手が、23歳の若さでロアッソ熊本で現役を引退し、震災復興のためにと地元に帰りました。その元F･マリノスの仲間である加藤健太選手にNPOハマトラは独自に接触し、来週のアウェイ仙台戦にあわせて震災復興企画を進めることとなりました。

被災地（宮城県石巻市･東松島市）の少年サッカーチームに、加藤健太を通じて、新品のサッカーボールを1人1コを目標に寄付しよう！

【募金について】

１口千円からにて約500口を目標とした募金を募ります。

（１）募金の受け付け

ⓐNPOハマトラの非営利募金口座に振り込みください。（７／30月曜日午前中まで受付）

ⓑ本日７／28（土）ホームゲーム清水戦のハマトラブースにて直接受付

（２）募金の使い道

①アディダス･ジャパン様、モルテン様と横浜マリノス株式会社の協力を得てNPOハマトラが購入します。

②加藤健太さんを通じて、被災地（宮城県石巻市･東松島市）の少年サッカーチームに寄付いたします。

（３）募金の目標

ⓐ上記のサッカーチームに所属する少年全員に寄付することを目標とします。

ⓑそのため約500口の寄付を目標といたします。

【募金振込口座】

横浜信用金庫　本店営業部　普通７２５７４２

NPO法人ハマトラ・横浜フットボールネットワーク

詳細はNPOハマトラの公式サイト http://hamatra.comに加藤選手インタビューとともに、掲載されています。ぜひともご協力ください！

サポーター活動体験記 Vol.8

8月21日　第8回みなとみらい大清掃作戦

この日の集合時間は10時30分。集合場所の桜木町駅前に向かったところ、既にかなりの数のマリノスサポーターが集まっていました。今回の参加者は約70名ということで、マリサポの結束力の強さを改めて感じました。

３つのコースで班を分け、11時過ぎに小雨のパラつく中、大掃除がスタート！　私はA班で、桜木町駅前のバスロータリーから、みなとみらい大通りを抜けてマリノスタウンに至るルートを担当しました。パッと見は綺麗に見えますが、茂みの中や歩道橋の階段、空き地などから、沢山のゴミが出てきてびっくりしました。小さいものはガムの包み紙やティッシュや吸い殻、大きいものだとタイヤのホイールやキッチンマットなど、「なんでそこに捨てた？」と不思議に思えるものまで。空き瓶や空き缶、ペットボトルも多かったです。

途中で休憩を挟んだり、道中のお店で売られていたトリコロールグッズに心惹かれて少し寄り道したり(笑)、雨宿りをしながら、15時頃にマリノスタウンに到着しました。

今回のみなとみらい大清掃に参加して、こうした活動はスタジアムを、マリノスの応援をもっと楽しむために、大きな意味があると感じました。

私はかなりの人見知りな性格で、普段はスタジアムで新しい知り合いを作るのが少し苦手です。でも今回は多くのマリノスサポーターと一緒に清掃活動を行うことで一体感を得ることができ、清掃活動後の打ち上げでも、沢山の人と楽しく交流できました。好きな選手の話、チームとの関わり方、これからクラブがもっと地域に愛されるようになるため、私たちに何ができるかなど、いろいろな話を通して、改めて考えたり、気づいたこともたくさんありました。

スタジアムでマリノスを応援するとき、テレビ観戦では絶対味わえない楽しみのひとつは、サポーター仲間や新たな人の繋がりができることです。試合に通う中で自然にそういった繋がりができることもありますが、今回の大掃除や、普段から行われているハマトラブース、ポスター掲示などのサポーター活動に参加することで、その繋がりがより一層大きく、強くなっていくのではないかと思います。

最後に、今回お世話になったみなさん、本当にありがとうございました！　次回も是非参加したいです(*´∀｀*)　（奈桜）

loose eye

ハマトラ・プレビュー7/28
vs 清水エスパルス

開幕から無敗を続け首位を走っていたベガルタに初黒星を付けた第10節から約３ヶ月。エスパルスはリーグ戦で８試合、白星から見放されている。

特に深刻なのは得点力不足。コンセプトであるサイドアタックそのものが機能していない訳ではないが、サイドからのクロスがゴールに繋がらない。ゴトビ監督は毎節のようにアタッカー陣を入れ替え、最善の組み合わせを模索し続けているが、未だフィットする形を見いだせていない。

苦しい戦いが続くエスパルスだが、新加入のルーキーたちが次々とデビューを飾り、チームの力になっている。ユースから飛び級で昇格したMF石毛秀樹、昨年の高校サッカー最高のタレントと呼び声高いFW白崎凌兵の両名はナビスコ杯でデビューを飾り、それぞれ初ゴールを記録。慶應大から鳴り物入りで入団したMF河井陽介は卓越したサッカーセンスと技術でゴトビ監督の信頼を勝ち取り、リーグ戦16試合に先発出場している。その中でも特筆すべきは、韓国の東国大学から加入したDF李記帝（リキジェ）。開幕から左SBのレギュラーポジションを勝ち取ると、抜群のキック精度を武器に清水のサイドアタックの起点となっている。彼の左足は警戒すべきで、マリノスにとって非常に危険な存在だ。

エスパルスを「深刻な得点力不足」と評したが、リーグ戦19得点はマリノスも同じ数字。互いになかなかゴールを生み出せず苦しんでいる。ロースコアの決着が予想される今日の試合、どちらが中位を抜け出すための勝ち点３を得られるか。願わくば、トリコロールの歓喜を見たい。　（いた）

予想フォーメーション　4-3-3

※前節退場の岩下と吉田はナビスコ杯で出場停止を消化。※村松大輔はロンドン五輪出場のため欠場。

対戦成績（J1リーグ戦）
17勝10分18敗　55得点54失点

直近３試合				
12年５月26日	J1	A	△	0-0
12年４月18日	ナビスコ	A	●	0-1
11年８月27日	J1	A	△	0-0

NEXT HOMEGAME

J-LEAGUE DIVISION 1

8/11(土)19:00	8/18(土)19:00	9/15(土)19:00
vsアルビレックス新潟	vs川崎フロンターレ	vs浦和レッズ
ニッパツ三沢球技場	日産スタジアム	日産スタジアム

サッカー検定のクイズコーナー

©TBSS

日本サッカー協会（JFA）が発表するフェアプレーの定義において、誤った記述はどれか。 出題カテゴリ：フェアプレー

- **ルールの精神は安全・公平・喜び**
- **レフェリーに敬意を払う**
- **相手に敬意を払う**
- **ルールを理解しないでプレーする**

●サッカー検定とは

サッカー検定は、サッカーを愛する人ならどなたでも受験できる、唯一の検定試験です。サッカーの歴史、ルール、戦術、記録、エピソードなどを学ぶことにより、サッカーにまつわる知を高め、サッカーを今まで以上に楽しむことを目指した本格的な検定です。

サッカー検定
モバイルサイト

答え：ルールを理解しないでプレーする

マリノス・日本代表
Nゲージ・電車でGO・映像・グッズ
鉄道とサッカーの居酒屋
新横浜機関区
横浜市中区吉田町10 斎藤ビル５階（吉田町交番となり）
交通：JR京浜東北/根岸線 関内駅徒歩２分
横浜市営地下鉄 関内駅徒歩１分
http://shinyokohama-kikanku.net

スタジアムを熱くするF･マリノス･サポーターのためのフリーペーパー "ハマトラ"

hamatra paper

Vol. 088 2012/07/28

20年前、あなたはどこで何をしていただろう。

1992年、マリノスはその歴史をJの舞台で刻み始めた。

三ツ沢で今と変わらず応援していた人もいれば、ブラウン管の向こうからディアスや井原のプレーを眺めていた人もいるだろう。若いサポーターは、まだ生まれていなかったかもしれない。

20年後、あなたはどこで何をしているだろう。

大事にとっておいた20周年ユニを着てスタジアムに足を運び、40周年ユニを着た若いサポーターに、それが日産時代のデザインであること、残念ながら着用試合の勝率が振るわなかったことを話して聞かせているかもしれない。

日産自動車サッカー部が創部されたのは1972年。今その当時を直接知る人は少なく、20年後には誰もいなくなっているかもしれない。しかし日産とマリノスの歴史は続き、語りつがれる。私たちがスタジアムに足を運ぶことをやめてしまわない限り。

20年後も、スタジアムで会おう。　（蒼井真理）

Cover Photo: filippo on July 14, 2012 at Expo'70 Stadium

hamatra.com

Hamatra News

■ポスター協力店紹介

【試合当日に限り、本紙ハマトラ提示でサービスあり！】

～試合の後は新横浜（ホーム）で盛り上がろう～

◆うまいもの市場 TAPA 新横浜たあぶる館店

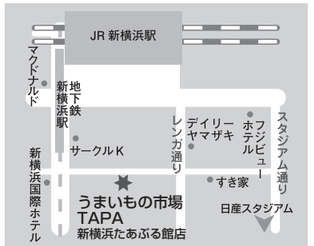
ハマトラ提示で：お会計から10%オフ

港北区新横浜２－５－16

新横浜たあぶる館１Ｆ

☎０４５－４７０－１３１３

試合当日の営業時間：16:00～24:00



■ハマトラブースだより

昨年の東日本大震災のあと販売した復興支援リストバンド「Stand Up,Together.」の2012年版が本日より販売開始です。白配色が多い爽やかなデザインで日常的に着けられる5㎜幅、S（内周180㎜）／M（内周202㎜）の２サイズ。価格は300円、もちろん利益はすべて被災地へ。一般販売は少量なので早く売り切れてしまったらごめんなさい。皆さん、今年もご協力よろしくお願いします！

また、その他アパレルグッズ販売（一部セール品あり）／フリーペーパーハマトラ最新号配布／エコキャップ回収活動も行っています。東ゲート広場トリコロールランドのハマトラブースにぜひ遊びに来て下さい！

※雨天時は２階リング通路の「雨の日ランド」になります。　（つばさ）

Stand Up,Together.

hamatra

NPO法人 ハマトラ・横浜フットボールネットワーク
http://hamatra.com/

◇ ハマトラは、ＮＰＯ法人 ハマトラ・横浜フットボールネットワークが制作・発行・配付しているフリーペーパーです。◇ ハマトラに関するお問い合わせは、ＮＰＯ法人 ハマトラ・横浜フットボールネットワーク（info@hamatra.com）まで。

編集後記： 出場実績の少ない選手たちに対し「あれができない」「○○選手にはまだ及ばない」と減点評価するより、「よかったところ」を見つけながら拍手や声援を送ってほしい。最初から実績あるレギュラー選手と同じことができるはずはないし、選手それぞれに持ち味も違う。台所事情が厳しい試合こそ、加点評価で。（蒼井真理）

hamatra:SNS

■hamatra SNSに入ろう！

hamatra SNS（http://hamatra.net)は、横浜Ｆ・マリノスサポーターのための、情報交換コミュニティサイト。「マリサポのためのmixi」、みたいな感じ。なんと3000人以上も利用中。hamatra SNSに入るとこんなうれしいことが!

1. **サポーター同士の交流が可能！** ➡ hamatraSNSで日記を書くとサポーターみんなが見てくれるよ。
2. **サポーターの知り合いが増える！** ➡ 日記やコミュニティで交流が増えると、自ずとサポーターの知り合いが増えるよ。
3. **サポーター間でしか話せないようなことが話せる！** ➡ 自主制作Ｔシャツやサポート活動の告知等もhamatra SNSで行われているよ。

【hamatra SNSの入り方】

●その１：すでにhamatra SNSを利用している人に招待してもらう。

●その２：welcome@hamatra.com に参加希望のメールを送る。

※スマートフォンの方は、携帯会社のメアドではなく、gmail等のPC用のメアドで参加希望を出してください。

※管理人自身による確認・招待作業に数日かかる場合があります。

ぜひhamatra SNSにご参加ください‼　お待ちしてます。

twitter

■NPOハマトラ 公式ツイッター
@hamatraofficial

NPO法人ハマトラでは、公式Twitterアカウントで情報を発信しています。ハマトラブースでの新商品案内や、ハマトラペーパーの配布告知など、最新の情報をリアルタイムにお届けします。みなさんフォローしてくださいね。

■サポーター活動ツイッター

サポーター活動各エリアのツイッターアカウントできました！　ポスター活動の日程や様子、地域のトリコロールな情報をお届けします。

神奈川区・鶴見区	旭区	青葉区・都筑区
@hamatra_kng_trm	@hamatra_asah	@hamatra_aob_tzk
中区・西区	磯子区	戸塚区・栄区・泉区
@hamatra_nak_nsi	@hamatra_isog	@hamatra_i_t_s
南区	金沢区	瀬谷区
@hamatra_minam	@hamatra_kanaz	@hamatra_sey_yam
港南区	港北区	横須賀市
@hamatra_knan	@hamatra_khk	@hamatra_yksk
保土ケ谷区	緑区	ウイマリ
@hamatra_hodg	@hamatra_midori	@hamatra_wemari

石井和裕：中央大学在籍中から日本代表だった金田喜稔の加入をきっかけに、日産自動車サッカー部のファンに。84年元旦の初優勝以来、６度の天皇杯優勝をすべて国立競技場で応援。1994年からマリーシアを代表して企画運営を担当。2006年に女子サッカー「モックでなでしこリーグ」協賛担当として1億円のティアラを製作。J's GOALとの合同企画「Jリーグママ会」を開催し、スタジアムに子育てママを誘引するプロジェクトを推進。
◆マリーシア・ウエブ http://www.malicia.org/

ゴール裏温故知新 特別篇

「Jリーグ開幕当時のゴール裏風景」

マリーシア石井和裕インタビュー

Jリーグ開幕から今年で20年目。1992年、マリノスは日産自動車サッカー部からその名を変えて、マリノスとしての歴史をスタートしました。マリノスに20年の歴史があるように、マリノスのゴール裏にも20年の歴史があります。Jリーグ開幕当時、ゴール裏の最前線で活動し、そして20年経った今もマリノスを応援し続けるマリーシアの石井和裕さんに、ハマトラが話を聞いてきました

（インタビュー＆構成：蒼井真理／写真：filippo）

マリノスのゴール裏・黎明期

――マリーシア発足のきっかけを教えてください

マリーシアの発足日は、1992年の元旦。当時、プロサッカーリーグの設立が決まり、サッカーブームが始まりましたが、読売クラブ（東京ヴェルディの前身）のサンバの応援が脚光を浴びて、「サッカーの応援と言えばサンバ」というイメージが定着しつつあった。それに対し、「声や手拍子で応援するスタイルを日本にも定着させよう」という思いを持った日産自動車サッカー部のサポーターが集まり、マリーシアは誕生しました。

旧JSLの日産時代から、アウェイも含めてほぼ全ての試合に応援に行くサポーターは存在しました。その当時、僕はまだマリーシアに入ってないんですが、バラバラに応援に行っていた人たちが、アウェイなどで一緒に行動するようになっていったと聞いています。僕は92年のナビスコ杯の初戦で初めてマリーシアの人たちと接触して、その次の鹿島戦で「マリーシアに入りたい人は名前を書いてください」というノートがまわってきました。インターネットや携帯電話が普及し始める前の、試合会場でしか接点のない時代です。ノートに名前を書き連絡を取り合うようになり、ナビスコ杯１次リーグの間に、サポーターの中核部分ができていきました。

――当時の応援スタイルは？

最初は手拍子とコールが中心で、チャント（応援歌）も２種類だけ。ナビスコ杯の１次リーグが進むにしたがって、少しずつチャントが増えて、93年の元旦までには選手個人の歌も含め、多くのチャントができました。応援の基本スタイルは現在と大きく変わりませんが、発足の理念として、アンチ・サンバスタイルというのは強く意識していました。試合中の横揺れとかダンスとか「ヴェルディっぽいもの」はやらない、という不文律はありましたね。

――現在は海外のチャントに日本語の歌詞を乗せるのが一般的ですが、当時は何を参考に？

90年代前半はセリエAが地上波で放送されるようになり、イタリアを中心に欧州のチャントを参考にすることが多かったですね。選手の個人チャントは覚えやすくするため、日本の少し古いアニメソングや流行歌を取り入れました。

――Jリーグ開幕当時の映像を見ると、チアホーンにフェイスペインティング、揃いのフラッグを振って…というイメージが強いですが

他のクラブは分からないですけど、マリーシアは１つのスタイルを強要することはなかったですね。「絶対にユニフォーム着用」とういうこともなかった。オフィシャルのLフラッグが全盛でしたが、93年当時に僕は手作りのオリジナルフラッグを持っていたし、マリーシアはオリジナルのマフラーを作っていた。応援グッズの選択肢が少なく、自分たちで作るノウハウも足りなかったので、映像では画一的に見えるかもしれませんが、新しいことをやりたいという気持ちは強かった。

――ゴール裏の年齢層や性別は？

僕は25歳くらいで、10代から20代半ばの世代が圧倒的に多かったですね。まだ全盛だったプロ野球に対するアンチテーゼで集まってくる人も多かった。今は逆になっているんじゃないかと思うんですけど、当時は野球が30代以上、サッカーは10代・20代という印象でした。女性も今よりずっと多くて、10代は特に多かった。Jリーガーはサテライトの若手でもアイドル状態で、彼らを見るため、必死にチケットを入手しようとする女子高生も沢山いました。

ブームの終焉と「ドーハ以降」

――ブームが続いたのは最初の２年まで？

２年もたなかったですね。２年目、94年の途中でその構図は崩れます。単純にブームの終焉ということもあったでしょうが、ドーハの悲劇（93年10月、ワールドカップのアジア最終予選のイラク戦、ロスタイムの失点で出場権を逃す）があって、その影響が94年の途中からゴール裏に出てきた。

現地に応援に行ったサポーター「ドーハ組」の持ち帰った土産話が、いろんな影響を与えるんです。つまり、Jリーグは華やかで女の子も沢山いて、エンターテインメントに富んだスタジアムだけど、最終予選っていうのは「生きるか死ぬかの、男ばかりの戦場」だと。「自分たちがこうすれば勝てたんじゃないか」とか「それはJリーグも一緒じゃないか」とか。

更にドーハに行けなかった人たちが、その話を拡大解釈した。応援に対する価値観や行動が極端に振れて、ドーハ組以上にストイックな行動になっていった。ゴール裏は次第に、１年目とはずいぶん違った雰囲気になっていきました。サポーターグループの乱立や対立は、その頃から始まるんですが、発端はドーハの悲劇を経験したサポーターが戻ってきたことが大きかったと思います。

――94年にはマリーシア以外のサポーターグループも増え、その中で対立が生じた？

そうですね。対立の理由はドーハ組の影響であったり、選手やフロントと距離を近づけたいと考えるグループが出てきたり…。マリーシアのコミュニケーション方法にも問題があって些細なことも上手く折り合わない状態となり、ゴール裏が完全に二分化しました。僕たちは「Jリーグは若者が既存の概念を崩していくもの」だと考えていたから、マリーシアの中心メンバーが20代後半に入っていく中で役目は終わったと考え、ゴール裏最前列から撤退しました。

――ゴール裏最前列を退くことに、寂しさはありませんでしたか？

ありましたけど、僕たちがやりたいことと違うことを望む人たちが増えているのであれば、そこで頑張ることに意味はない。どこで切り替わるかタイミングの問題で、その時がきたという判断でした。マリーシアの元々のメンバーって、Jリーグが始まる前からサッカーが好きで、サポーター文化を広げることで、サッカーが広まり世の中が変わっていくといい、と考える人が多かった。でもドーハの後はサッカーが好きというより、「応援で何かを成し遂げよう」とか「サポーターの中で名を馳せよう」という人が増えた。それは良い悪いでなく、ゴール裏の価値観の大きな変化だったと思います。

最前列を退き、そしてバックスタンドへ

――95年の途中に最前列を離れ、どこで応援を？

当時は三ツ沢のゴール裏最上段、バックスタンド寄りの位置で観ていました。日産スタジアムができてからも、最初はゴール裏２階中央にいましたが、自由席がバックスタンド側に拡張され、マリーシアの中心メンバーもそちらに移りました。

今は「毎試合これなくても、応援のスタイルが違っても、好きなクラブを応援し続けることができるんだよ」という文化をバックスタンドに定着させていきたい。ゴール裏はゴール裏で頑張ってほしいですけど、もしゴール裏にいることが辛くなったら「バックスタンドにも居場所があるよ」と。

バックスタンドが「静かにサッカーを観察する場所」だとしたら、ゴール裏にいた人が来たときに、価値観が違い過ぎていられないと思うんです。そうじゃなく中間的な、座って観てるけど手拍子もコールもする、選手のプレーに対して大きなリアクションをする、相手のファウルに「ふざけんなバカ野郎！」って叫ぶ――そんな場所になれば、定住する人が増えるんじゃないかなと。

――バックスタンドが成熟しないと、スタジアム全体の雰囲気は良くならないですからね

僕は以前、セリエAやチャンピオンズリーグの試合を現地で観戦したことがあるんですけど、バックスタンドのお客さんはゴール裏に合わせてチャントを歌ってるわけでもコールしてるわけでもないけど、１つひとつのプレーに対してギャーギャー隣の人と言い合い、ピッチに対して何か叫んでいる。その喧しさが、スタジアムの空気を作っていると実感しました。

普段は真面目に働き、静かに生活している人たちが、スタジアムのバックスタンドに来たら、何を言ってもよくて、隣の知らない人と会話して、相手チームに罵声を浴びせる。これは何にも変えられない素晴らしい文化だと思ったんです。それを日本でも実現させていきたい。

平日はつらいことも沢山あるけど、週末ここに来れば仲間がいて、自分にとって「戻れる場所」と感じられるような、そんなものができればと思います。最近また、Jリーグが始まったころの仲間たちと会う機会が増えました。頻繁に会う機会がなくても、つながっている感覚をみんな持っていますね。

――バックスタンドでも、いつも大体同じ席で観ている人も沢山いて「あの人いつも近くで観てるな」とかあると思うんですね。もっと自然に会話が生まれたり、試合中ハメを外して一緒に盛り上がってもいいんじゃないかと思うんですけど

そういう会話がもっと見たいので、去年から日産スタジアムのホームゲームでは、試合開始１時間15分前に６階のMカフェに集まって、今日の試合の展望や見どころを語り合う場を設けてます。毎回くる人もいれば、たまにフラっときて話をしていく人もいます。

変わらないもの。語り継ぐもの

――95年に最前列を退き、長い年月が経ちました。現在のゴール裏に物足りなく感じること、逆に「変わらないな」と感じるものは？

物足りないってことはないですね。だって皆もの凄く頑張ってるし、僕たちよりずっと長い間ゴール裏に居続けている人たちも沢山いるんです。本当に頭が下がります。

変わらないなと思うのは、他のクラブとは、拍手や歓声が起こるポイントが違うこと。例えば、マリノスでは相手がDFやGKにバックパスをした時にワッと拍手や歓声があがります。それはゴール裏が中心になって形作ってきたこのスタジアムの空気が、チームのスタイルと共にあるんだなと思います。

――確かに、マリノス堅守の伝統と、それに美学を感じるサポーター文化みたいなものはありますね。相手のバックパスに、「ほらパス出すところないでしょ！」みたいな

あの時の一体感は本当にすごいと思う。そういうのって、ゴール裏がずっと頑張って、価値観を共有して受け継いできたから、その瞬間にスタンド全体が一体となれるんじゃないかな。

――石井さんが理想とするスタジアムは？

プレーする選手に対して、正当な評価が自然に発生するスタジアムですね。チャントやコールも大事ですが、素晴らしいプレーに対する拍手や、活躍した選手が交代でベンチに下がるときの拍手、ダメなプレーに対するブーイングが、自然に発生すること。そのためにも、目の前のプレーに対してどう感じたかという会話をもっと生み出していきたいですね。

――最後に、Jリーグ開幕前から20年以上マリノスを応援し続けている石井さんから、今一緒にマリノスを応援しているファン・サポーターへメッセージを

マリノスを好きであり続けてほしいですね。スタジアムは来る回数を重ねるほどに、楽しみや達成感が増えていく場所ですから。僕はもう20年以上それを続けてますが…

――まだ飽きませんか(笑)？

飽きませんねえ。マリノスのない生活は考えられない。たぶん僕は、飽きるより先に死ぬと思います(笑)。

アウェイのチケット購入は、チケットアライアンスで！ AWAY

アウェイゲームのチケットは、手軽に購入できるコンビニで入手している人が多いと思います。しかし今季から本格運用が始まった「チケットアライアンス」で購入すれば、販売手数料の一部がＦ・マリノスにも還元されます！

本日購入可能！

8/4(土)リーグ20節 仙台戦@ユアスタ
※ビジター自由席のみ
大人2,600円・小中高1,000円

チケットアライアンスによる購入方法

❶ホーム試合会場で
日産スタジアムとニッパツ三ツ沢で行われるホームゲーム、特設ブースでの販売

❷ウェブサイトから
http://t.pia.jp/sp/away/marinos.jsp
※クレジットカード決済。配送かコンビニ発券

WEBサッカー専門誌
The Yokohama Express
ヨコハマ・フットボール・メールマガジン：ザ・ヨコハマ・エクスプレス
Responsible editor 藤井雅彦
メルマガだからできる!!
・最速試合レビュー
・試合直前情報
・充実インタビュー